

# 芸術・スポーツ文化学科 カリキュラム概要図



●は必修科目

<b>教養科目 (24 単位)</b>	1 年 次
<b>共通基礎科目</b>	
<b>基礎教養科目</b>	
<b>現代的教養科目</b>	
<b>研究発展科目 (8 単位)</b>	2 年 次
	3 年 次
	4 年 次

<b>学科共通科目 (30 単位)</b>	1 年 次
<b>文化基礎科目 (8 単位)</b>	
<b>文化共通科目 (10 単位)</b>	
<b>ビジネス科目 (6 単位)</b>	
<b>地域実践プロジェクト科目 (6 単位)</b>	2 年 次
	3 年 次
	4 年 次

<各専攻 専門科目> (62 単位)			
芸術・スポーツビジネス専攻	音楽文化専攻	美術文化専攻	スポーツ文化専攻
<p>芸術・スポーツ文化の基礎となる学びを通して、広く文化を理解する科目群 芸術文化（音楽文化、美術文化）、スポーツ文化の基礎知識を得る科目であり、学生は自身が所属する専門以外の領域、すなわち、他分野の基礎的知識の獲得を通して、相互理解を深めることを目的とする科目です。</p>			
<p>音楽・美術・スポーツに共通する「感性・身体・表現」に関わりの深いテーマを設定し、研究分野におけるアプローチの違いや、共通の認識を総合的に学ぶという、テーマを通じて文化の多面性を知る科目 【授業科目の具体例】 感性：模倣と創造性是对立するものと考えられがちです。しかし、そもそも創造性とは繰り返し模倣することを通じて習得された、技術を基盤に成立するものではないでしょうか。ここで習得されるのは、単なる技術ではなく創造性を育むことのできる感性なのです。</p>			
<p>地域をフィールドとした文化実践を行うための芸術、スポーツ文化ビジネスに関する基礎知識を獲得する科目</p>			
<p>実際の芸術・スポーツ系プロジェクトの企画、地域における実践活動を中心とした体験科目 芸術・スポーツによる文化振興の可能性を地域における実践体験を通して探求し、芸術・スポーツ文化の社会における役割や意義について深く考察し、4つの専攻で学ぶ全ての学生に共通に求められる総合的な力を獲得させることを目的とします。</p>			
<p>■主な授業科目 マーケティング概論 政策学概論 文化政策学 芸術経営学 イベントマネジメント スポーツ経営学 等</p>	<p>■主な授業科目 ソルフェージュ 合唱 合奏 音楽文化 ピアノ 管弦打楽器 等</p>	<p>■主な授業科目 美術文化基礎 美術・デザイン文化基礎 書画・工芸文化基礎 メディア・タイムアート文化基礎 テッサン 美術マネジメント 等</p>	<p>■主な授業科目 ボールゲーム スポーツ運動学概論 スポーツ指導法 自然体験活動 リスキマネジメント 冬のフィールド経験 等</p>
卒業制作・研究			
<p>学生の自主的学習プログラムに基づき、選択により履修するもの</p>			

卒業に必要な単位数 124 単位

